

# 学びを支える小学生の夏休み自主学習会

～地域ボランティアと公民館の有効活用を通して～

大木町・大角西区公民館【自治公民館】・『自主学習会』実行委員会

委員長 荒尾美喜男

## ① 地域の概要

大木町は筑後平野の中央部に位置し、農業を中心として発展してきた。人口は平成26年12月1日現在14,533人となっている。

近年の大木町の特徴的な取り組みとして、資源循環型のまちづくりが挙げられ、次世代につけを残さない生活スタイルへの移行を目指し、町民との協働のもと、「循環のまちづくり」を積極的に推進している。

平成19年には生ごみなどをメタン発酵し、エネルギーと有機肥料に変えるおおき循環センターをオープンし、焼却ごみの大幅削減による温室効果ガスの排出抑制に大きな効果を上げている。また、平成22年に隣接して道の駅をオープンしている。

おおき循環センターの安定的運営と道の駅の活性化は「循環のまちづくり」の柱であり、今後も町の重要施策として積極的な取り組みが期待されており、町内外から大きな注目を集めている。

## ② 大角西区の概要

大角西区は町の北部に位置し、西鉄天神大牟田線の大溝駅のすぐ西側に自治公民館があり、電車で福岡まで約1時間、久留米まで30分足らずと通勤の便に恵まれていることから町の中でも人口が集中している地区である。世帯数が240戸、住民約700名（小学生65名）、高齢化率は17.4%と町の高齢化率（24.5%）からすると、比較的若い世代が多く集まった地区で近年も住宅が増加傾向にある。

## ③ 事業名「大角西区小学生の自主学習会」

### ④ 事業の目的

- (1) 子ども達の自主的な学習態度の涵養
- (2) 互いに学び合う態度の養成
- (3) 異学年の交流を図る
- (4) 地域文化の涵養



⑤ 事業の実施主体

大角西区「自主学習会」実行委員会（地区内の大人18名によるボランティア）

⑥ 連携・協力機関・団体等

大木町教育委員会 生涯学習課

（外部講師の紹介、助成金の交付、事業実施の助言など）

⑦ 事業予算（平成26年度）

（収入）

科目	金額（円）	内訳
助成金	20,000	大角西区からの助成金
お茶教室	15,000	1,000円×15人
助成金	130,000	大木町からの助成金
合計	165,000	

（支出）

科目	金額（円）	内訳
おやつ代	36,300	参加者おやつ代
教材費	20,700	絵の具、はがき、折り紙、食事作材料代等
講師謝礼	48,000	絵手紙、折り紙、おやつ作り等講師謝金
会議費・雑費	60,000	お菓子代、印刷費、消耗品等
合計	165,000	

⑧ 実施に至る経緯

平成22年の公民館建て直しを機に、公民館を地域社会活動の拠点と捉え、それまで閉ざされがちであった公民館の利用促進を図るために、平成23年度大木町の地区公民館有効活用モデル事業の地区指定を受け、月・水・金曜日の9時から17時まで公民館を地域住民に開放するようにした。特に、夏休み期間等において、公民館の快適な環境を利用して、小学生の自主学習を促し、学び合いの態度を育てるとともに、子ども達の健全育成を目指して、取り組んだ。

平成23年度からは、地域ボランティアによる「自主学習会」実行委員会を設置し、現在に至る。また、平成25年度からは、大木町民協働事業（もやい活動事業）として、町からの補助を受けている。

⑨ 事業の内容

大角西区「自主学習会」実行委員会を平成24年度地域住民によるボランティアを組織して設置。夏休み期間中、小学生を対象に自主学習の場を設け、併せて地域人材を活用した講師による体験活動を通して、子ども達の健全育成と保護者の子育て支援を目的として地域ぐるみで取り組んでいる。

また、「夏休み自主学習会」は、「地域で育てよう子ども達」をテーマに、長期休み

期間中の子どもの居場所づくりとしても、大変価値ある取組であると考え、平成23年度の夏休みから始めた。

参加者は平成23年度17名（延べ117名）、24年度38名（延べ227名）、25年度60名（延べ325名）、26年度44名（延べ233名）の参加者数となっている。

23年度は10時から12時までの「学習会」のみで行ったが、24年度から月・水・金曜日の9時30分から12時まで、そのうち1時間を「自主学習」、その他を「自由時間」としている。自由時間には絵手紙、折り紙、昔話、手品、おやつ作り、かき氷、七夕飾り作り、など地元のボランティアの協力を得ながら実施（その他に茶道教室を午後から不定期に全7回開催）した。

参加者が増加したことで、低学年と高学年、男子と女子と一緒に学習することに少々支障をきたす場面も見られた。しかし、高学年の子ども達が低学年の子ども達に分からない問題を解けるように教えたり、指導したりするなど地域の子も達が、仲良く学習に取り組む姿も現れ、異学年の交流を図ることができた。

#### ⑩ 事業の成果

事業終了後、子ども達には感想文、保護者には事業に対するアンケートを行った。その結果、子ども達から「学習会は楽しく、いろいろなことが体験でき、来年度も実施してほしい。」という感想が多く寄せられた。保護者からは「宿題がはかどり、日常生活にけじめが付き、親子の会話が増えた。」という意見が多く出された。

このことから公民館が子ども達の居場所となり、低学年・高学年が知り合い、子ども達同士の関係が深まるとともにスタッフとの関係も密になり、この学習会が地域づくりの核になりつつあることが窺われる。



#### ⑪ 今後の課題

参加者が多くなり、ボランティアスタッフの確保が難しくなった。また、全学年が一同に学習するため、低学年の学習に集中できない子どもと、勉強したい高学年の学習時間の確保や保護者のボランティアとしての協力が得られない等、課題として残った。

問合せ先

**大木町教育委員会生涯学習課 文化・町民活動支援係**

**〒830-0416 三潴郡大木町大字八町牟田 255-1 電話：0944-32-1269 FAX：0944-33-1406**